



# MS341-33001/2

## フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDフロントスポイラーをお買い上げいただきありがとうございます。  
本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。  
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。  
なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

### ■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS341-33001-A1	プラチナムホワイトパールメタリック (089)	加里 '17.07~
MS341-33001-C0	アティチュードブラックメタリック (218)	
MS341-33002-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

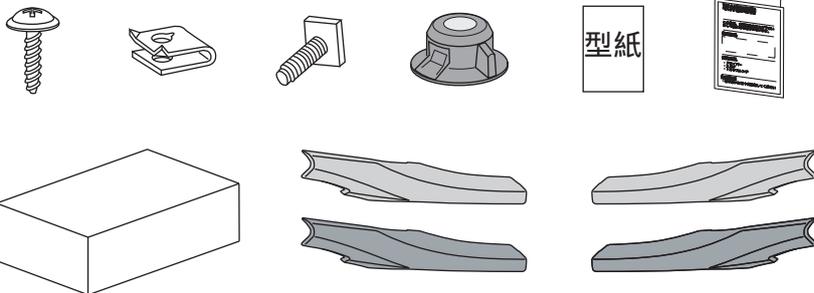
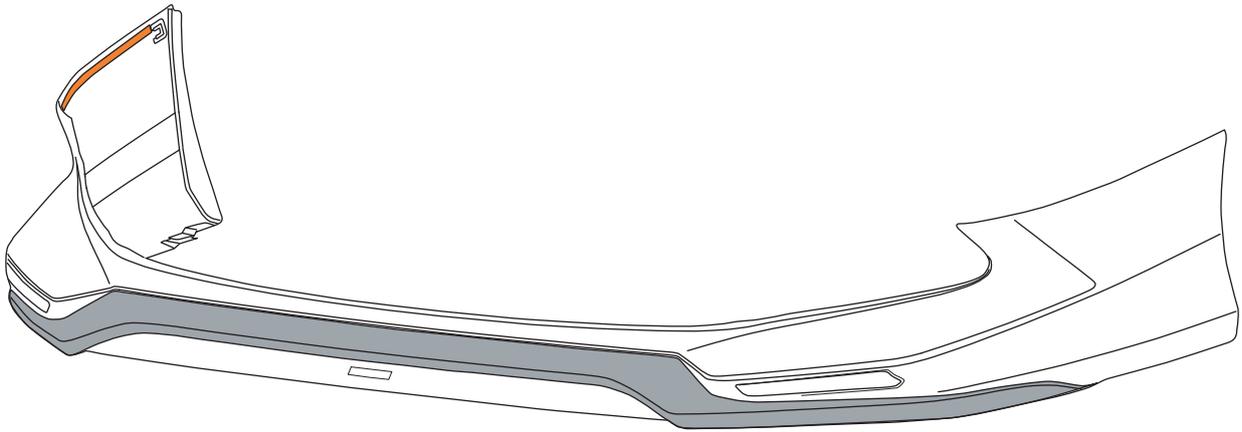
### ■ 構成部品

品名	個数	備考
フロントスポイラー	1	
タッピングスクリュー	2	5 × 1 2
Jナット	2	
スクエアヘッドボルト	2	6 × 1 5
クリップナット	2	
型紙	1	
取付・取扱要領書(本書)	1	本書
デイトムランニングランプセット	1	
グリルモール RH	(各1)	黒/グレー
グリルモール LH	(各1)	黒/グレー

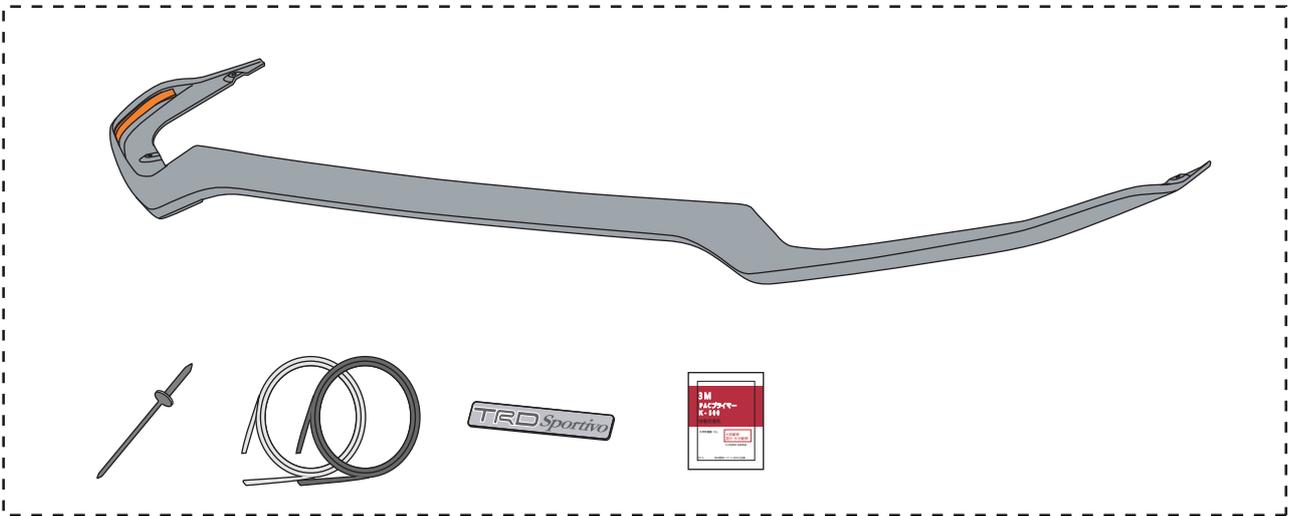
確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。  
以下、MS341-33002-NP(未塗装品セット)のみに同梱

品名	個数	備考
アウター別ピース	1	
リベット	7	
モール	(各1)	黒/グレー L=950mm
エンブレム	1	
PACプライマー	1	K-500

■ 構成部品図



~ は未塗装品にのみ同梱



# 取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



## 警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



## 注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



## アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

### ⊘ やってはいけないこと

### ❗ 必ず行なっていただくこと

## ⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

## ⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

## 脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

## 両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20以下低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

## 未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70以下で乾燥させてください。

## 取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

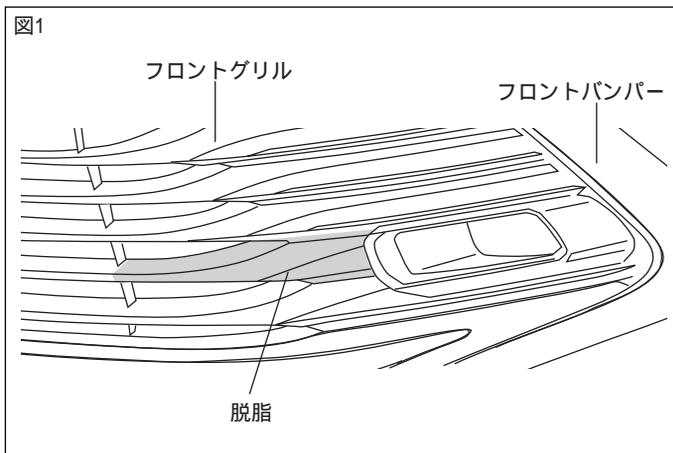
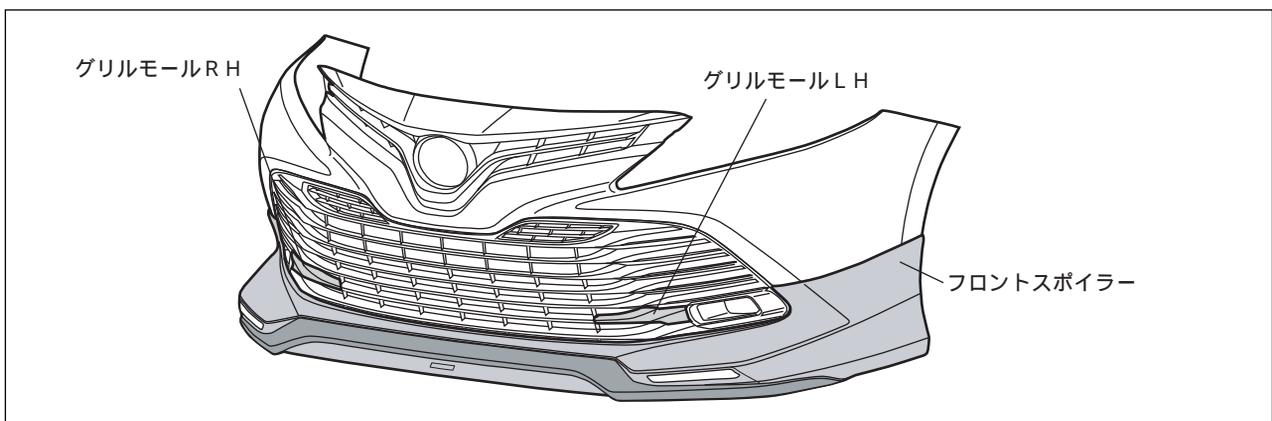
## 目次

- 1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 . . . . . 1 ~ 2
- 2. 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) . . . . . 3
- 3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 . . . . . 4
- 4. 取付け要領 . . . . . 4 ~ 12
- 5. 取付け後の確認・点検 . . . . . 12

## 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具(ハサミ、カッター等)・ヤスリ・リベッター
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・厚紙
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

## 取付構成図



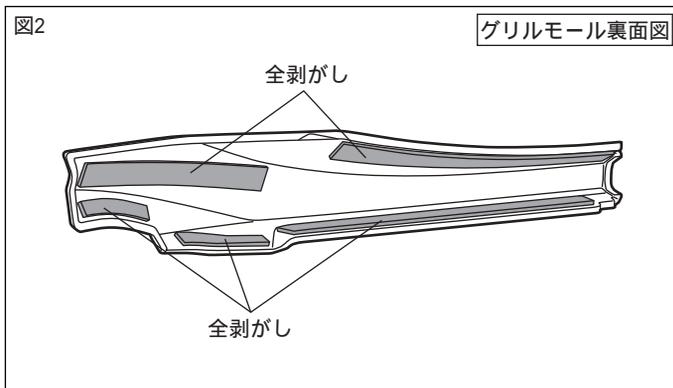
### グリルモールの取付

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 図1のようにグリルモールLH 貼付部 汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

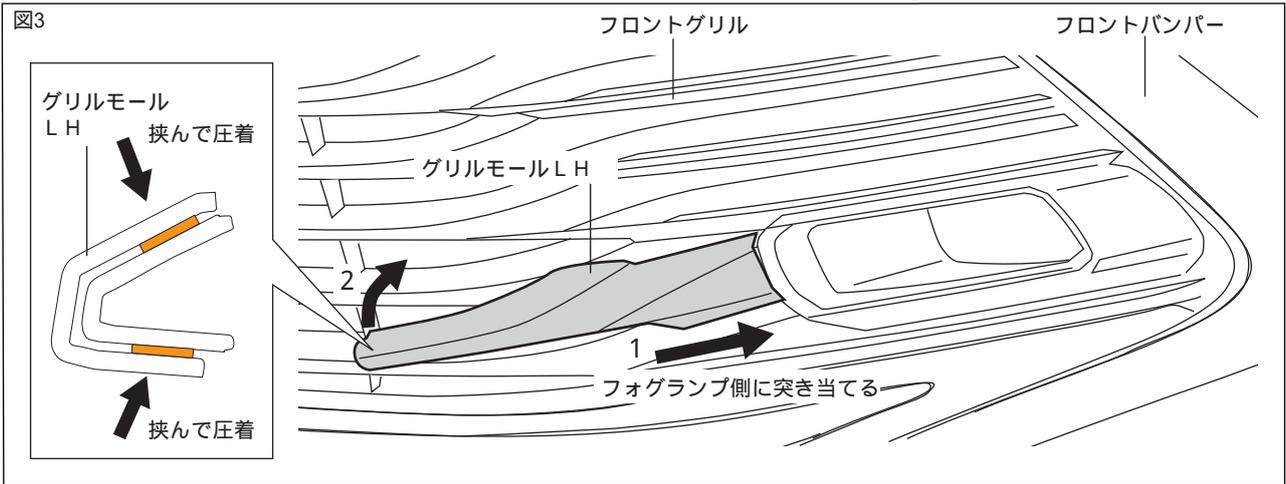
**アドバイス:** 脱脂作業要領書(別紙)を参照してください。

**アドバイス:** 脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。



2. 図2のようにグリルモールLH の離型紙を全て剥がす。(左右各5箇所)

**注意:** グリルモール は2色同梱されています。ロアグリルの色に合わせて取付けてください。



3. 図3のようにフロントグリルにグリルモールLH を貼付け圧着する。{ 49N ( 5kgf ) 以上 }  
(左右各1箇所)

⚠ 注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。

⚠ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

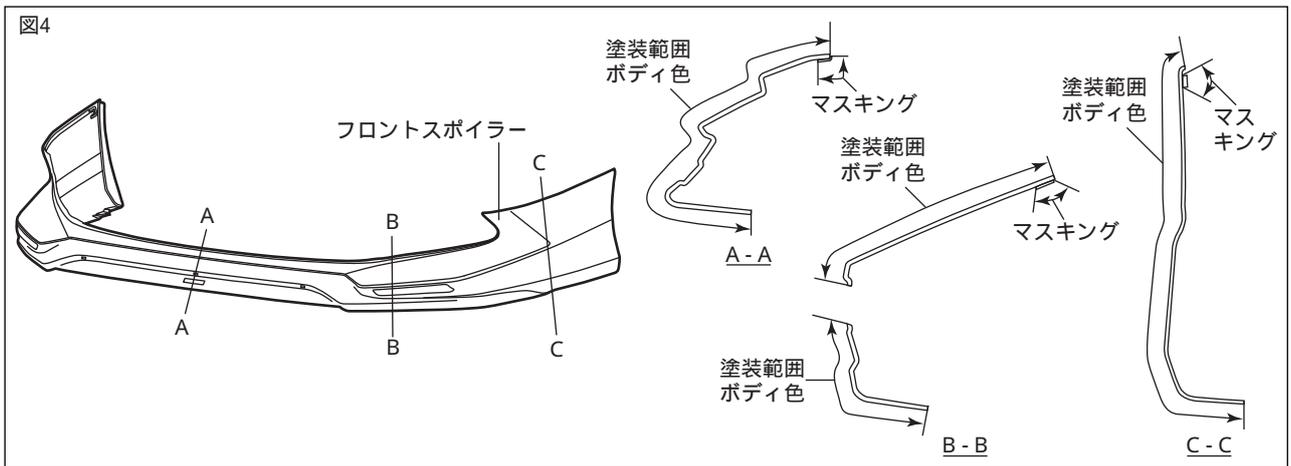
👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

### 未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS341-33002-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

### フロントスポイラーの塗装

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



1. 図4のようにフロントスポイラー をボディ色で塗装する。

⚠ 注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

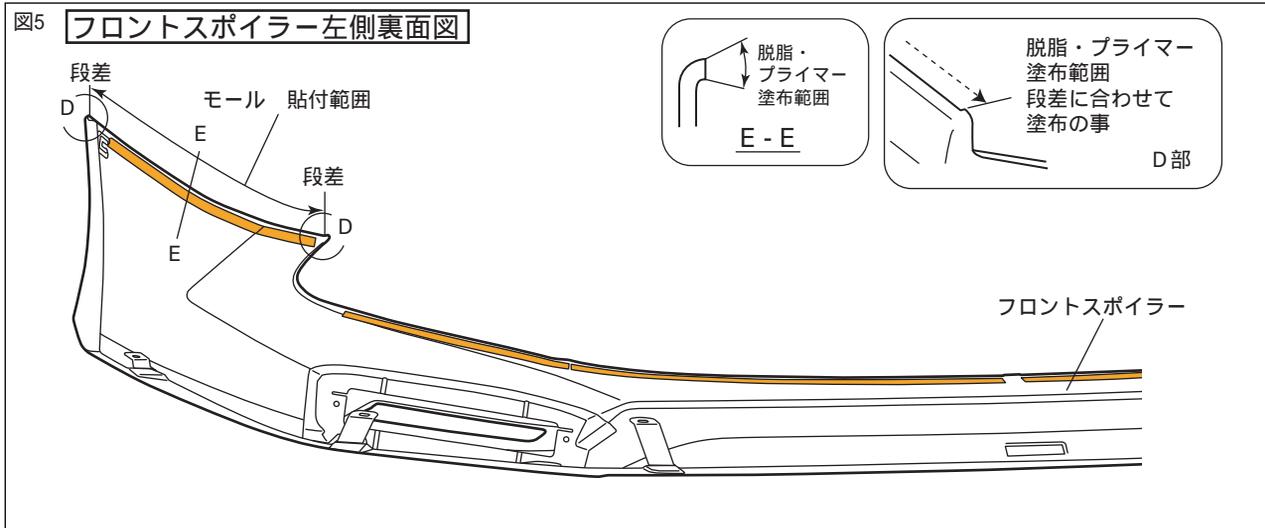
⚠ 注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠ 注意：乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

## モールの貼付け

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

図5 **フロントスポイラー左側裏面図**

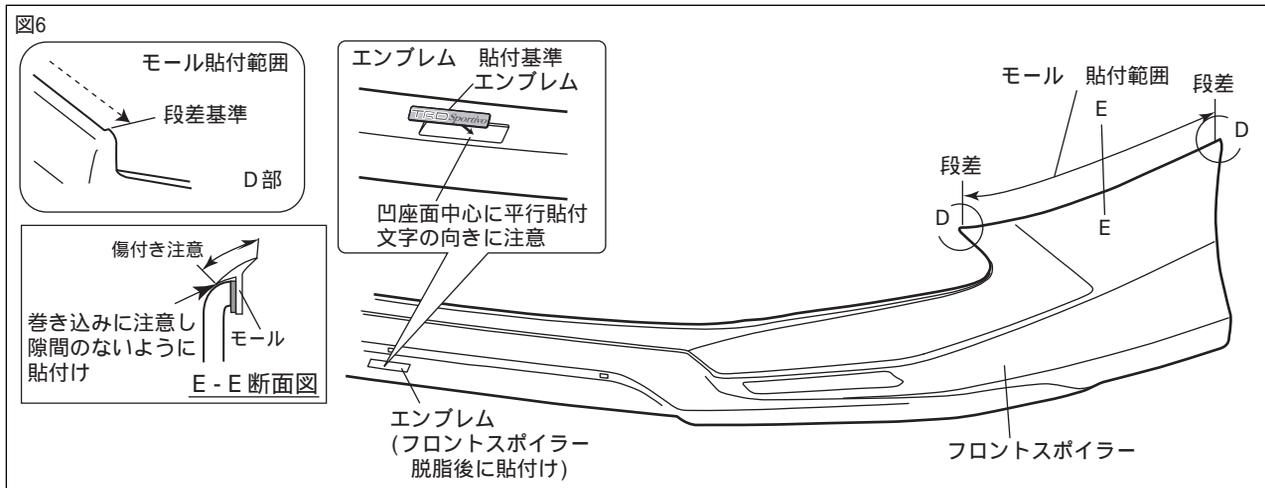


1. 図5のようにモール貼付部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーを塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

図6



2. 図6のようにフロントスポイラーに、モールの離型紙を剥がしながら貼付け、確実に圧着する。  
{ 49N (5kgf) 以上 }
3. 図6のように脱脂した座面にエンブレムを貼付ける。

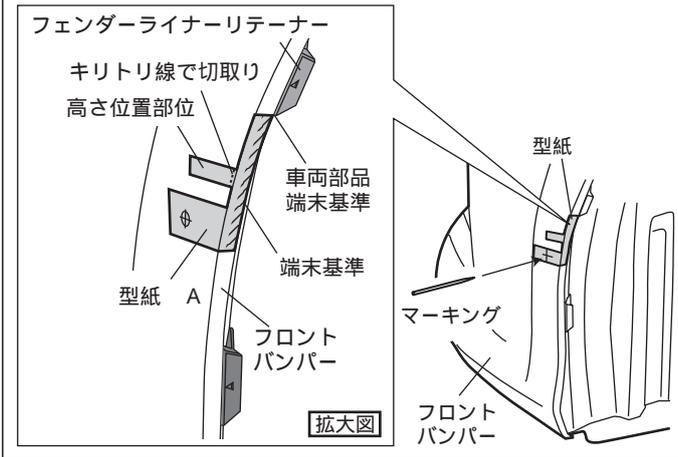
👉アドバイス：モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラーの貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠注意：モールは、二色同梱されています。巻末の推奨カラー表を参照してください。

未塗装品のみ、フロントスポイラー取付後にアウター別ピースの取付を行ってください。(作業要領：P11, 12)

図7

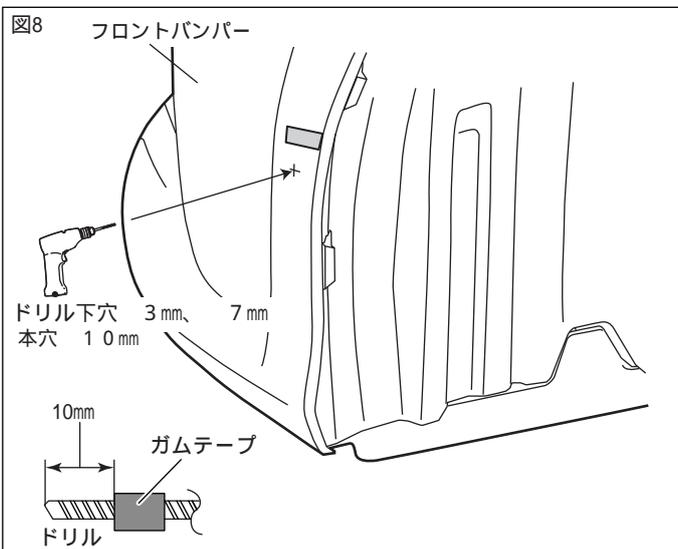


**取付準備**

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しており、RHも同様に行ってください。

1. 図7のように型紙 Aをフロントバンパーのホイールハウス端末部に合わせて貼付けマーキングする。  
(左右各1箇所)
2. 図7のように高さ位置部位を残してキリトリ線で切り取り、型紙を剥がす。  
(左右各1箇所)

図8



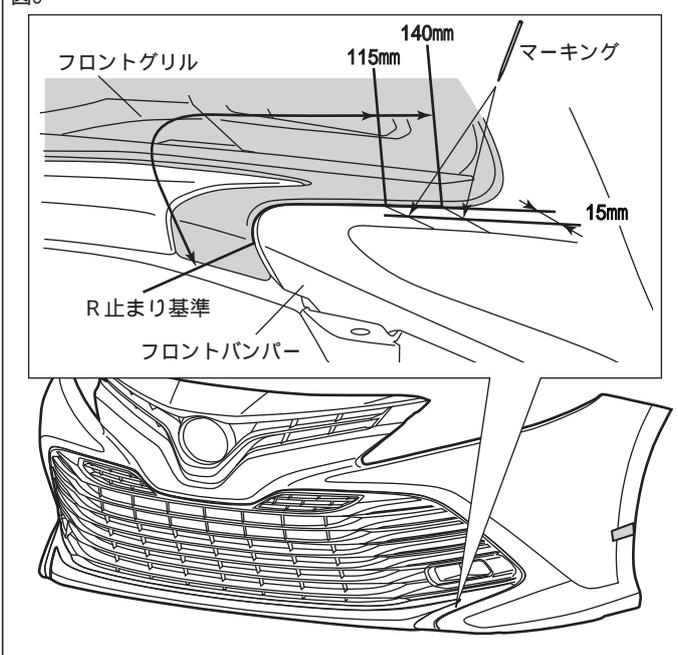
3. 図8のように 3、7、10のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、3、7のドリルでマーキング位置に下穴を開ける。  
(左右各1箇所)
4. 図8のように 10のドリルを使用して本穴を開け、穴のバリを取り除く。  
(左右各1箇所)

**アドバイス:** 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

**注意:** 作業時は保護メガネを着用してください。

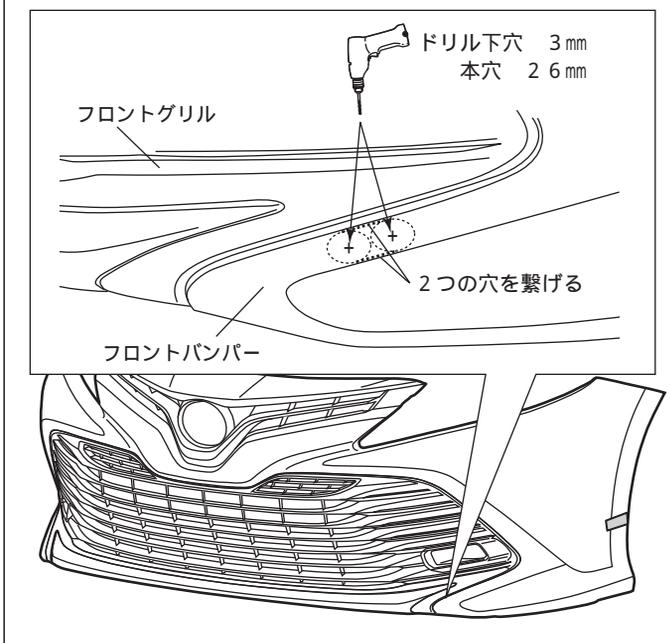
**注意:** バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意して行ってください。

図9



5. 図9のようにフロントバンパーのR止まりから面沿いで寸法を測り、マーキングする。  
(左右各2箇所)

図10



6. 図10のようにマーキングした位置に 3 のドリルで下穴をあけ、 2.6 のホールソーで本穴をあける。(左右各2箇所)

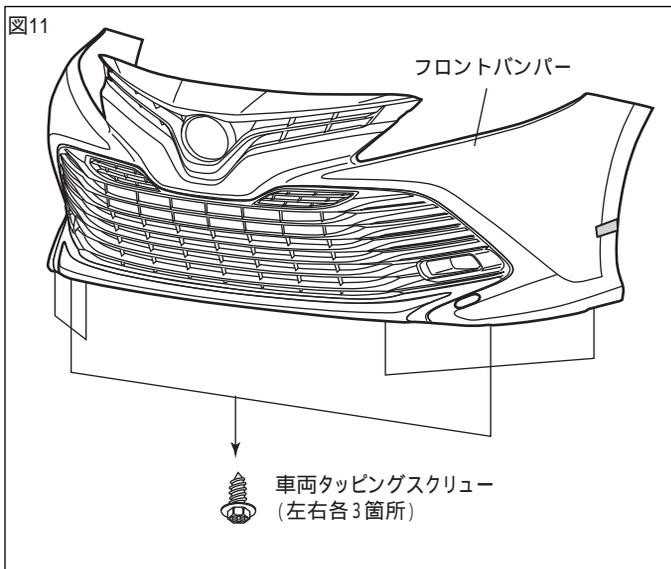
7. 図10のように手順5 であけた穴をつなげて、長穴にする。(左右各1箇所)

 **アドバイス:** 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

 **注意:** 作業時は保護メガネを着用してください。

 **注意:** パリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意して行ってください。

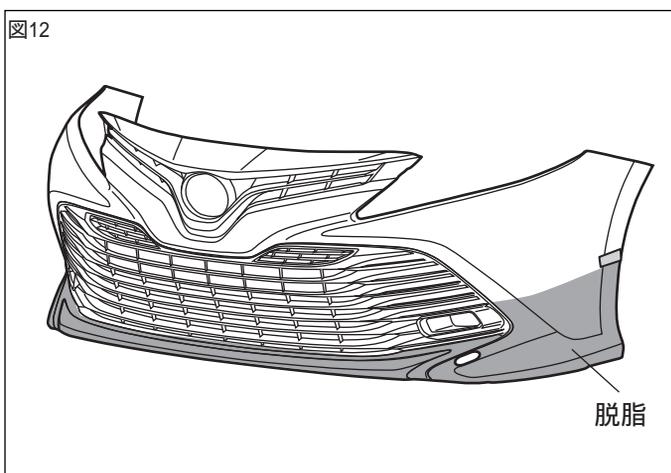
図11



8. 図11のように車両から車両タッピングスクリューを取外す。(左右各3箇所)

 **注意:** 取外した車両タッピングスクリューは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

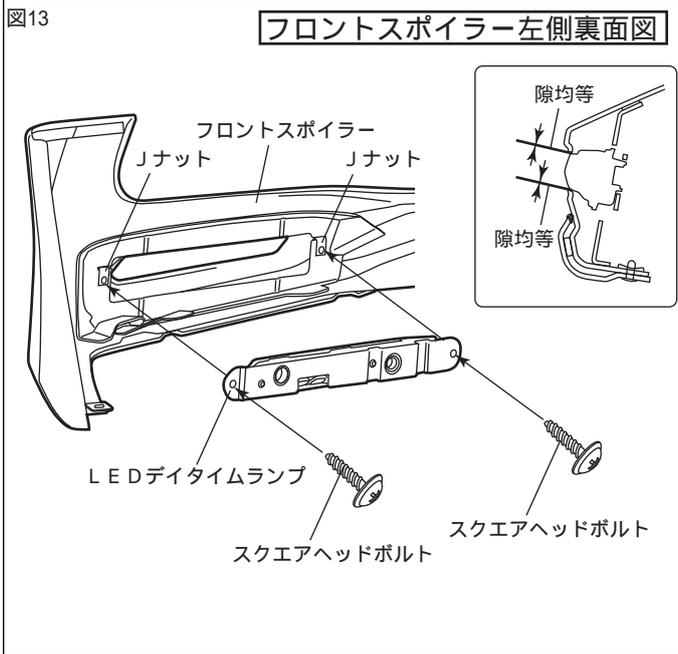
図12



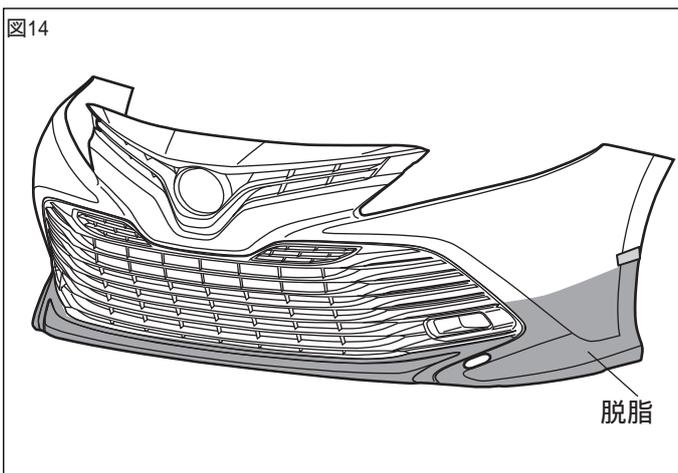
9. 図12のようにフロントスポイラー 取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

 **アドバイス:** 脱脂作業要領書(別紙)を参照してください。

 **アドバイス:** 脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。



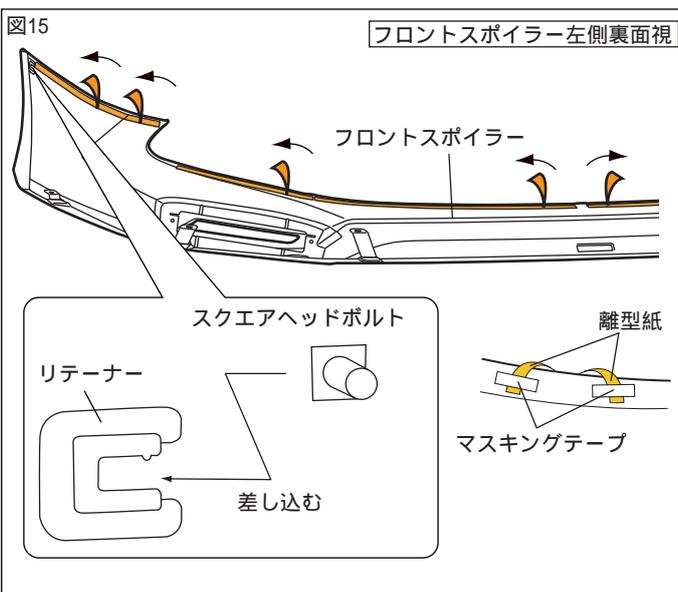
3. 図13のようにLEDデイタイムランプキットの取付要領書で組み付けたLEDデイタイムランプをフロントスポイラーとのスキが均一になるようにタッピングスクリューで取り付ける。(左右各2箇所)
4. タッピングスクリューを本締めする。(左右各2箇所)



5. 図14のようにフロントスポイラー取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

**アドバイス:** 脱脂作業要領書(別紙)を参照してください。

**アドバイス:** 脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。



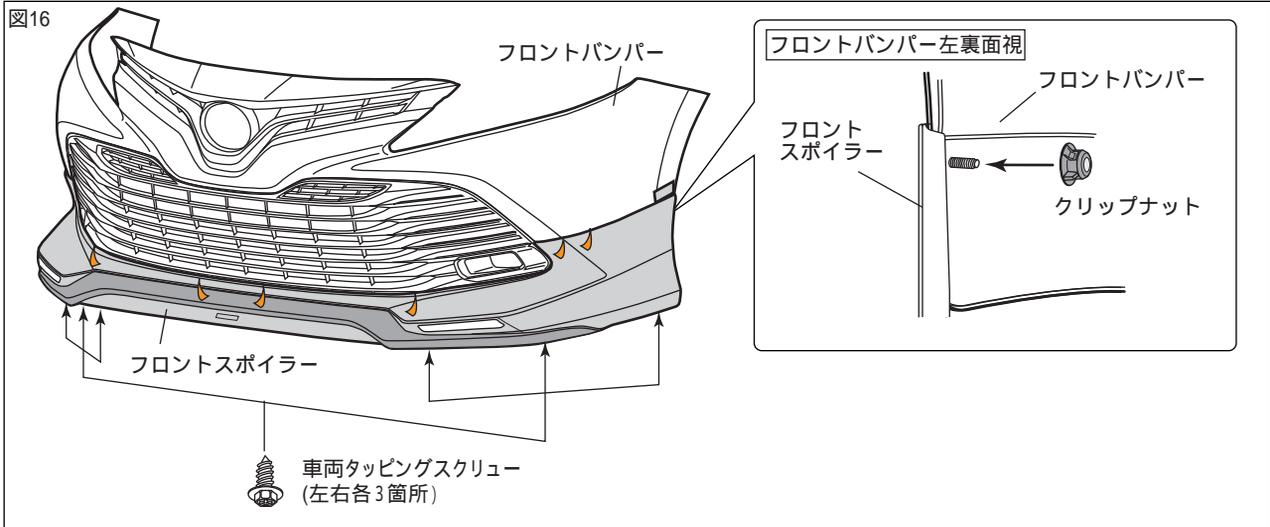
6. 図15の拡大図のようにフロントスポイラーに付いているリテーナーに、スクエアヘッドボルトを差し込む。(左右各1箇所)

7. 図15のようにフロントスポイラーの離型紙を、中央から外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(左右各6箇所)

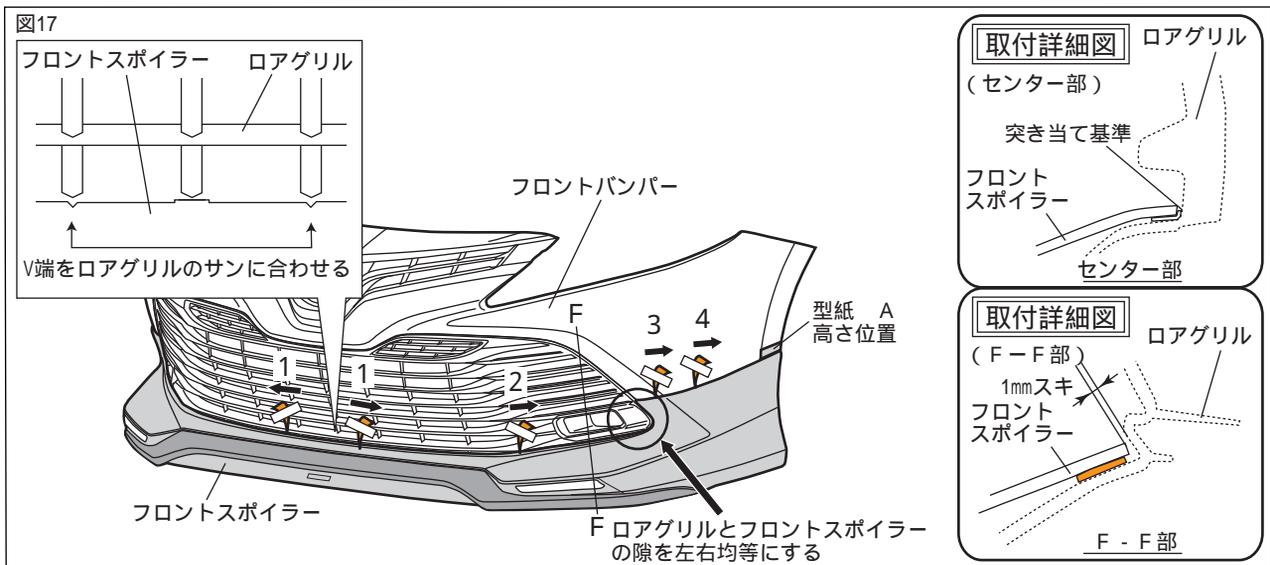
**注意:** 指示部以外の両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

## 取付要領

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



1. 図16のようにフロントバンパーにフロントスポイラーをかぶせる。
2. 図16のようにフロントスポイラーの下面を車両タッピングスクリューで仮締めをする。  
(左右各3箇所)
3. 図16のようにクリップナットで仮締めをする。  
(左右各1箇所)



4. 図15のようにフロントスポイラーを型紙 A の高さに合わせて後、センターとロアグリルの間に左右のズレ、隙が無いが確認し、両面テープの離型紙を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。  
{ 49N (5kgf) 以上 } (左右各4箇所)

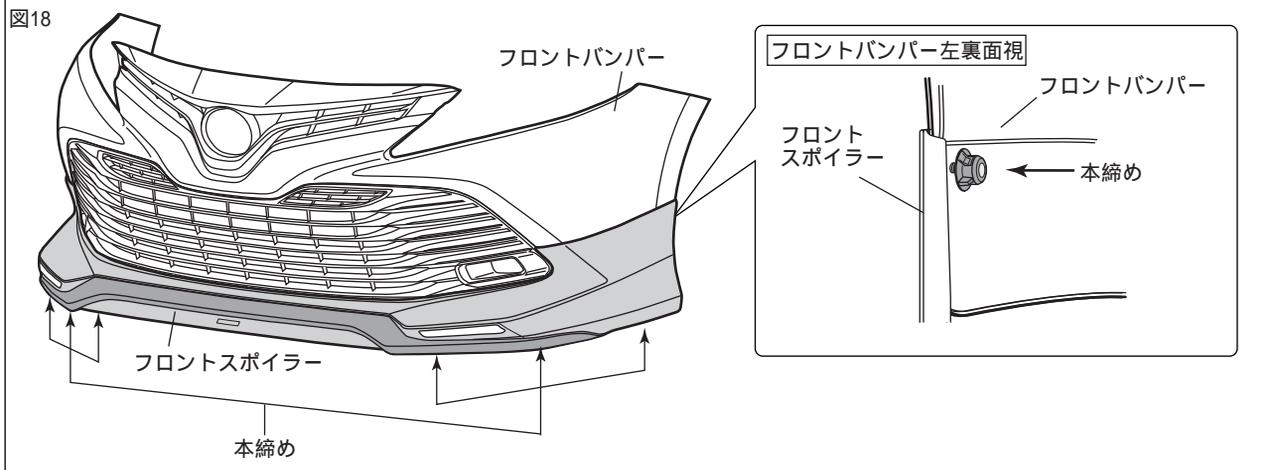
⚠ 注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。

⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

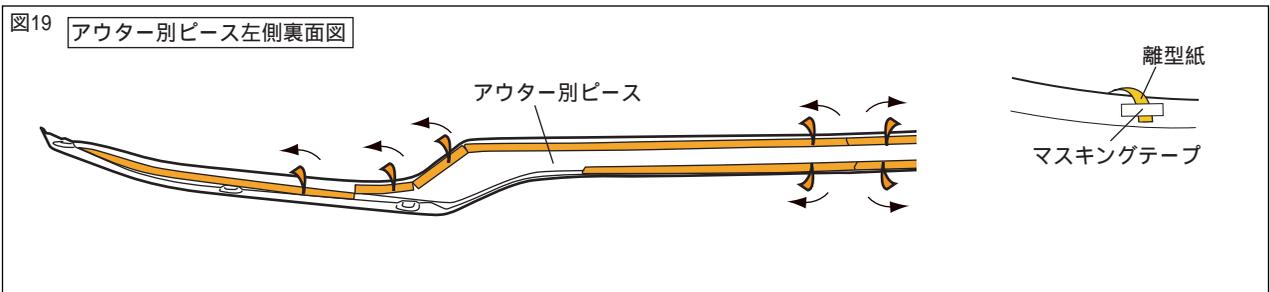


5. 図18のように仮締めしておいた下面の車両タッピングスクリュー(左右各3箇所)及び、クリップナット(左右各1箇所)を本締めする。

ここから未塗装品の場合のみ作業を行ってください。

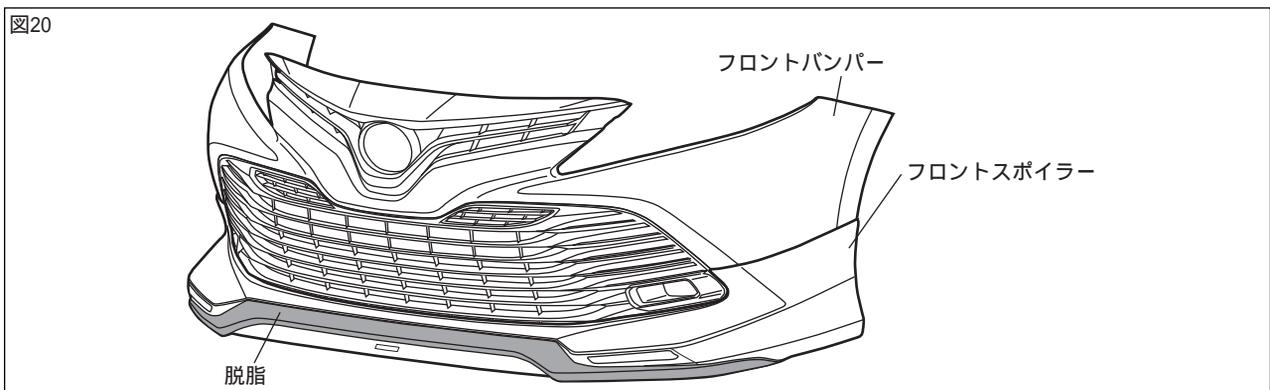
### アウターピースの貼付け

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



1. 図19のようにアウターピースの離型紙を、矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(左右各6箇所)

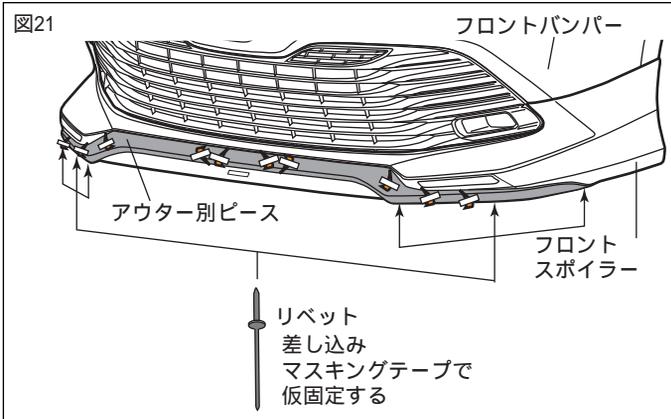
⚠注意：指示部以外の両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。



2. 図20のようにアウターピース貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

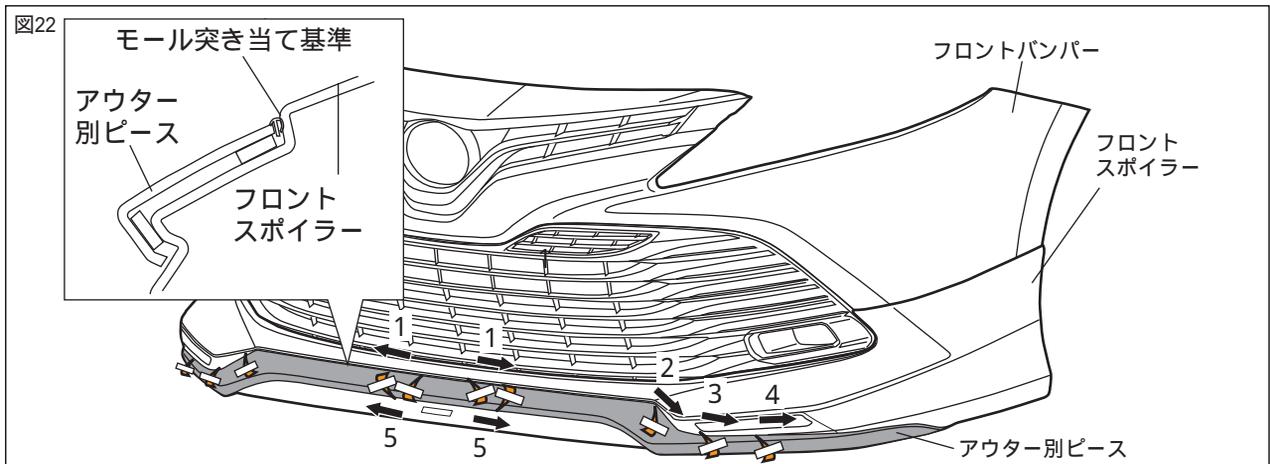
👉アドバイス: 脱脂作業要領書(別紙)を参照してください。

👉アドバイス: 脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。



3. 図21のようにフロントスポイラー にアウター別ピースをかぶせ、リベット を差し込みマスキングテープ等で仮固定する。  
(左右各 3箇所)

⚠注意：この時点でリベット を打ち込んでしまうと離形紙が剥がせなくなってしまふ場合があります。



4. 図22のように各部のスキが一定になっていることを確認しながら離形紙を番号順に、剥がしながら貼付け圧着する。{ 49N ( 5 kg f ) 以上 }  
(左右各 5箇所)

- ⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。
- ⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。
- ⚠警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。
- ⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

5. 仮固定したリベット を打ち込み固定する。  
(左右各 3箇所)

**取付完了後の点検・注意事項**

1. フロントスポイラー、及びフロントバンパーがタッピングスクリュー、クリップナットにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。
4. 車両のフォグランプ及びLEDデイトタイムランプの点灯点検を確認する。
5. 作業完了後、車両修理所に従い各種センサー類・灯火類等の再設定を行う。

**モールド設定 推奨カラー表**

カラー	カラー名	推奨モールド色
0 8 9	PLATINUM WHITE PEARL MICA	グレー
1 F 7	SILVER METALLIC	グレー
2 1 8	ATTITUDE BLACK MICA	ブラック
3 T 7	EMOTIONAL RED	ブラック
4 X 1	STEEL BLONDE METALLIC	グレー
4 X 7	GRAPHITE METALLIC	ブラック
8 W 7	DARK BLUE MICA METALLIC	ブラック



# 81430-AV700 LEDデイトタイムランプ

## 取付・取扱要領書

この度はTRD LEDデイトタイムランプをお買い上げ頂きありがとうございます。  
本書には上記商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。  
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。  
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません。必ず車両登録後に行ってください。

### ■品番・適合一覧表

品番	適合	備考
81430-AV700	MS341-33001/2	カムリ 17'07~

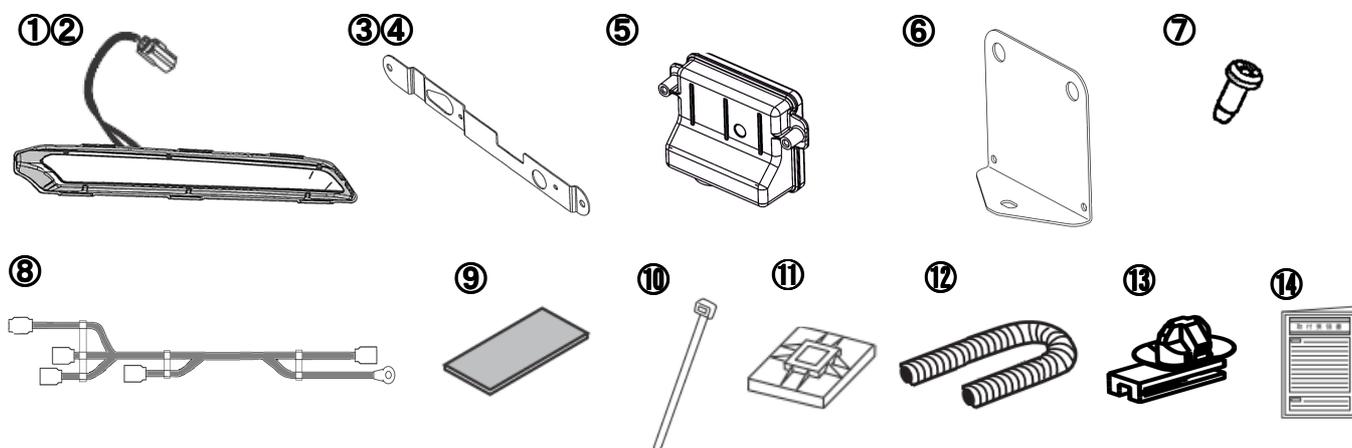
\*本商品はフロントスポイラー（MS341-33001/2）に装着する専用部品となります。

\*本書は、LEDデイトタイムランプを装着するための要領を記載しています。

### ■構成部品

No.	部品名	個数	備考
①	LEDランプ RH	1	
②	LEDランプ LH	1	
③	ランプリテナーRH	1	LEDランプ用
④	ランプリテナーLH	1	LEDランプ用
⑤	ランプユニット	2	左右共通
⑥	ユニットブラケット	2	左右共通
⑦	タッピングスクリュー	8	M4×10 ランプ・ユニット共通
⑧	ハーネス	1	エンジンルーム用
⑨	スポンジテープ	5	50×100
⑩	結束バンド	14	L=150
⑪	結束バンドベース	2	20×20
⑫	コルゲートチューブ	1	L=200
⑬	クランプ	2	
⑭	取付・取扱要領書	1	本書は大切に保管してください。

### ■構成部品図



## 取付け・取扱い上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みのうえ、安全で確実な取付け作業を行ってください。



### 警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。



### 注意

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が傷害を受けたり、物的損害の可能性のある内容について書かれています。



### アドバイス

スピーディに作業していただくうえで知っておいていただきたいことを記載しています。



### やってはいけないこと



### 必ず行うこと



### 警告

⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。

破損や故障により重大な事故の原因となる可能性があります。

⓪ 取付け作業は、必ずエンジンやマフラーなどが冷えていることを確認して行ってください。

エンジンルームやマフラーなどが熱い状態での作業は、ヤケドや思わぬケガをするおそれがあります。

⓪ 取付け作業は、必ず平坦な場所でエンジンを停止して、車両が動かないことを確認して行ってください。

予期せずに車両が動き、体を挟むなどの重大な事故の原因となります。

⓪ 取付けの際は、規定トルクに従って、取付けボルト・ナット類を締付けてください。

取付け時に緩みがあると徐々に緩んで、脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

また締付トルクが過大だとボルトやナットを破損するおそれがあります。

⓪ 取付け後、本商品と車両や車両部品との干渉が無いことを確認してください。



### 注意

⓪ 本商品の取付け・交換は必ずトヨタ販売店及び、専門の修理工場にて行ってください。

⓪ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

⓪ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

⓪ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部を保護材にて養生をしたうえで作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

⊖ 本商品の取付けで清掃・脱脂の際にシンナーやベンジン等の、有機溶剤の使用は絶対に行わないでください。変色や変形の原因となります。

⓪ 脱脂作業を行う際は火気に十分注意し、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）をご準備いただき確実な脱脂（油脂分の除去）を行ってください。上記以外のパーツ・ブレーキクリーナー等、その他の溶剤は絶対に使用しないでください。ハガレやウキの原因となります。

⓪ 本商品に塗装をする際は、乾燥温度にご注意ください。乾燥温度が70℃以上の場合、製品に変形やワレが発生しますので十分に注意してください。強制乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。

⓪ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。

取付けの際は作業環境と製品・車両の表面温度が20℃以下にならない環境で作業してください。

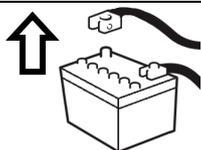
温度が低い時は製品と車両の表面温度が20度以上になるように暖めて、取付け作業を行ってください。

⓪ 両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要になります。製品の取付け後は、最短3時間程度は、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、かからないようにオープンタイム（静止時間）をお取りください。

⊖ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品のハガレやウキなどの不具合の原因になります。

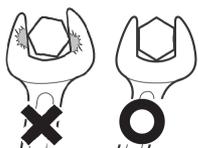
## LEDデイタイムランプ配線取付け上の注意事項

- ❶ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください  
**推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）**
- ❷ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。取付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



### 取付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。

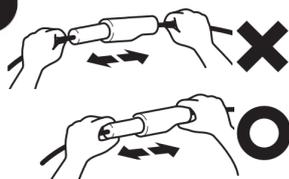


### 部品を取付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。

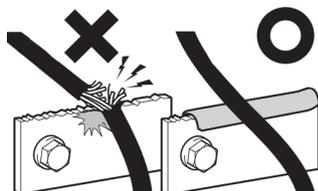


- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。

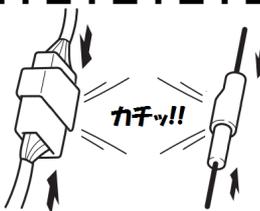


### 配線の取りまわしは

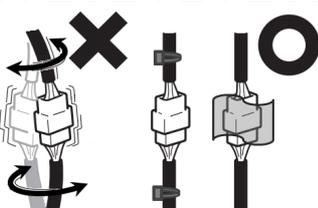
- ・コネクターは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。



- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクターは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



### 配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした端末が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクターが振動により異音がしないように、確実に固定する。

### ⚠ 注意



- バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

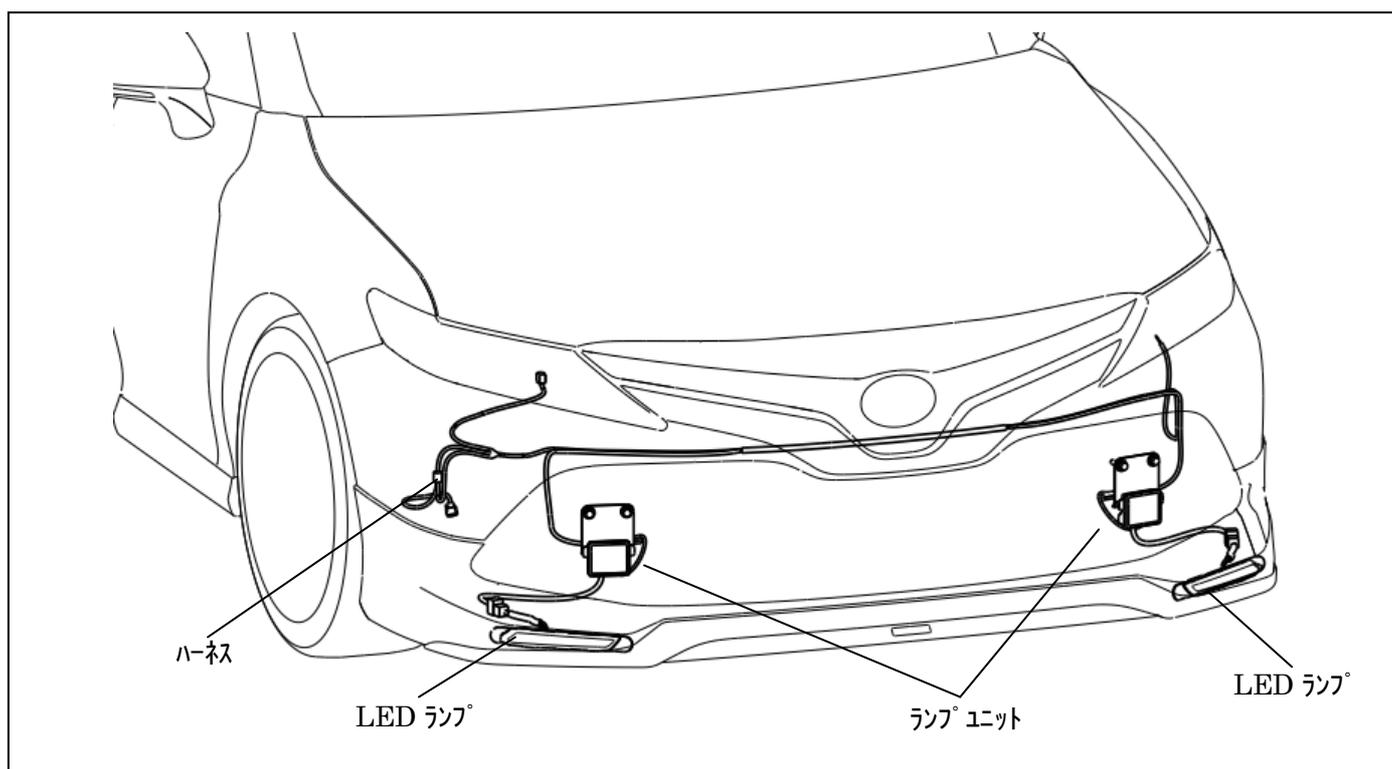
## ■目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図	1
2. 取付け・取扱いご注意(作業の方へ)	2
3. 配線取付け上の注意	3
4. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、配線概要図	4
5. 取付け要領	5～9
6. 取付け後の確認・点検	10
7. 回路図	10

## ■取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具、トルクレンチ、ドリル、キリ、
- ・保護シート、保護テープ、ビニールテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール (IPA)、清潔なウエス

## ■配線概要図



## ■ LEDデイタイムランプ取付けについて

下記は、LEDデイタイムランプの取付け準備・配線取廻し作業を記載しています。

該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項・要領のとおり作業を行ってください。

**※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております**

**RHも同様に行ってください。**

### □取付け作業

1. 該当車両の修理書に従い、フロントバンパーカバーを取外す。

2. 図1のように、コルゲートチューブ⑫を100mmの長さにカットして、コネクタより約30mmの位置にビニールテープで巻きつける。

#### 👉ポイント

コルゲートチューブへのビニールテープの巻きつけは、ハーフラップで巻きつけてください

3. 図1のように、ハーネス2本が離れないように根元にビニールテープを巻きつける。

4. 図2のように、LEDランプ②にランプリテーナー④をタッピングスクリュー⑦2本で組付ける。

(左右各2箇所)

**※スポイラーへのLEDランプASSYの組付けは、フロントスポイラーの取付要領書に従い、組付けを行ってください。**

5. 図3のように、ランプユニット⑤をユニットブラケット⑥にタッピングスクリュー⑦2本で組付ける。

(左右各2箇所)

図1

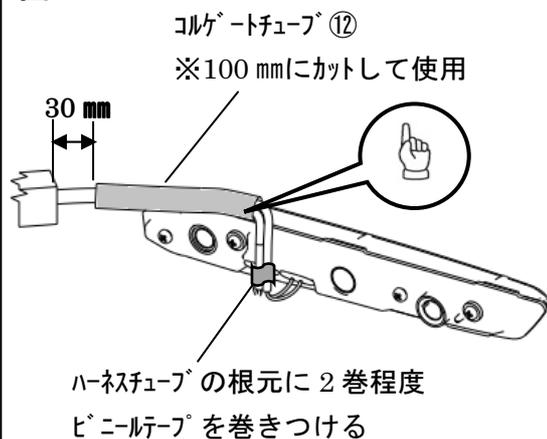


図2

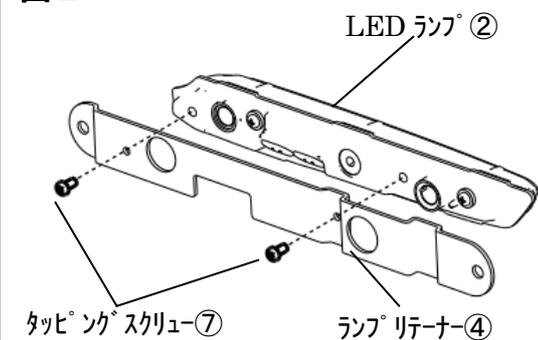


図3

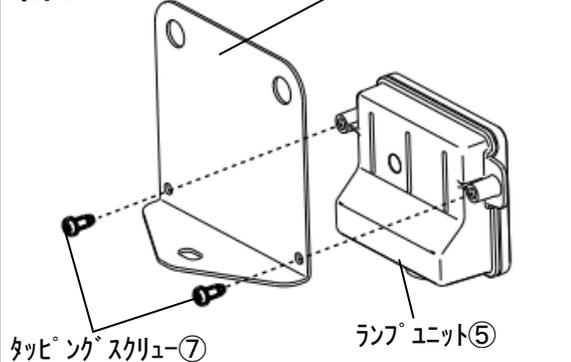
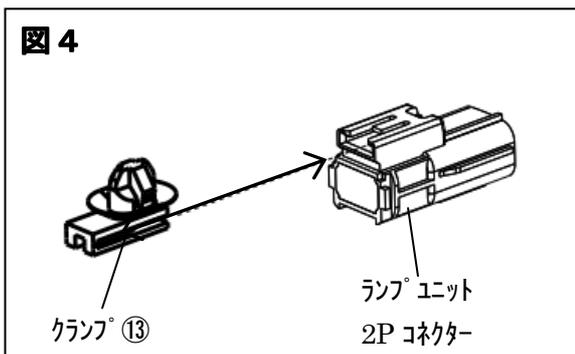
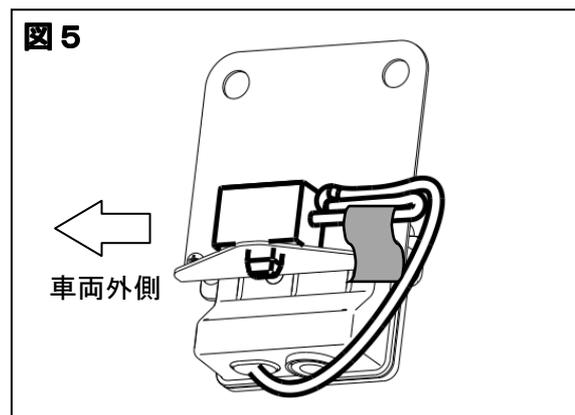


図 4



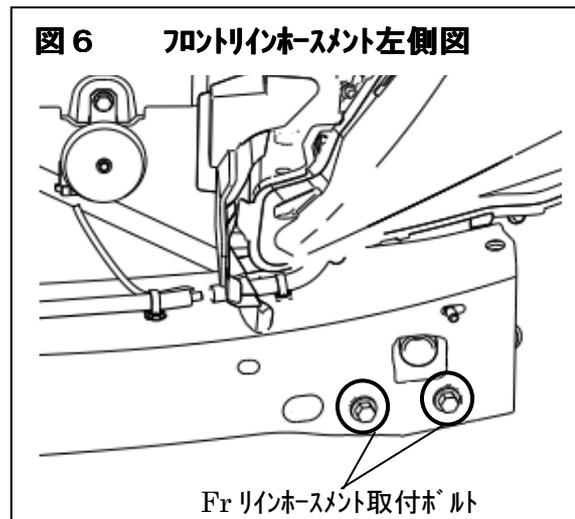
6. 図4のように、ランプユニット⑤の2Pコネクターにクランプ⑬を組付ける。  
(左右各1個)

図 5



7. 図5のように、ユニットブラケットのクランプ穴にコネクターを組付け、ハーネスの余長をビニールテープで束ねる。  
(左右各1個)

図 6 フロントリインホースメント左側図

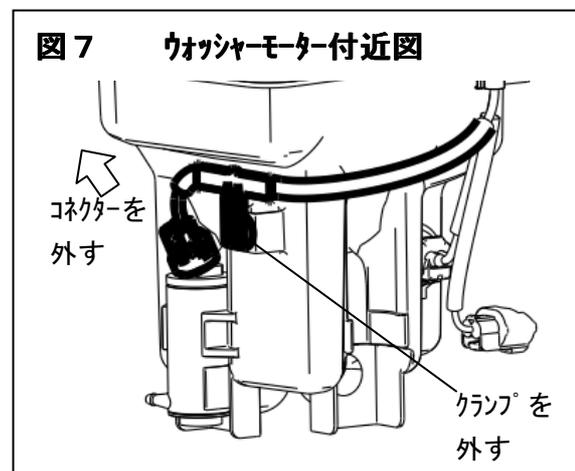


8. 図6のように、車両のフロントリインホースメントの取付けボルトを取外す。

**注意**

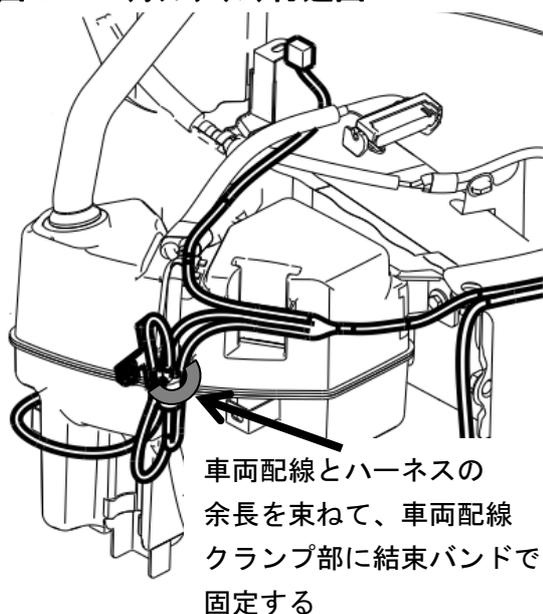
取外した車両ボルトは再使用しますので、無くさないよう保管してください。

図 7 ウォッシャーモーター付近図



9. 図7のように、車両右側ウォッシャーモーターの2Pコネクターとクランプを外す。

**図 8 ウォッシャータンク付近図**

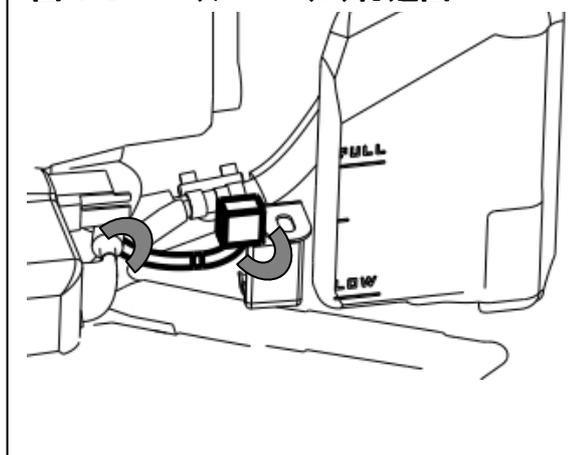


10. 図8のように、ハーネス⑧2Pコネクターのメス側をウォッシャーモーターに接続する。
11. 図8のように、ハーネス⑧2Pコネクターのオス側に車両から外した、ウォッシャーモーターの2Pコネクターを接続する
12. 接続したコネクター部にクッションテープを巻きつける
13. 図8を参考に、ハーネスの余長を束ねて、コネクターのオス側が下になる様に結束バンド⑩で固定する。
14. 図8を参考に、ハーネス⑧のヒューズボックスをヘッドライト下を通して、ラジエタリザーバタンク前に配置する。
15. 図9のように、ハーネス⑧を車両クランプ穴を使用して、結束バンド⑩で固定する。

**図 9 ウォッシャーモーター付近図**



**図 10 リザーバタンク付近図**



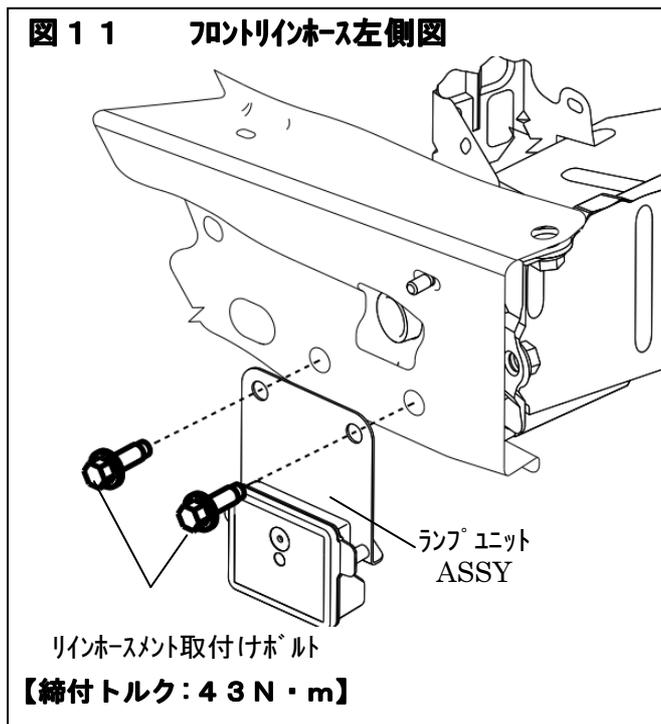
16. 図10のように、ハーネス⑧のヒューズボックスを車両クランプ穴とヘッドランプ下の車両配線に結束バンド⑩で固定する。

**▲ 注意**

ヒューズボックスは、必ず蓋が上を向くように固定してください。

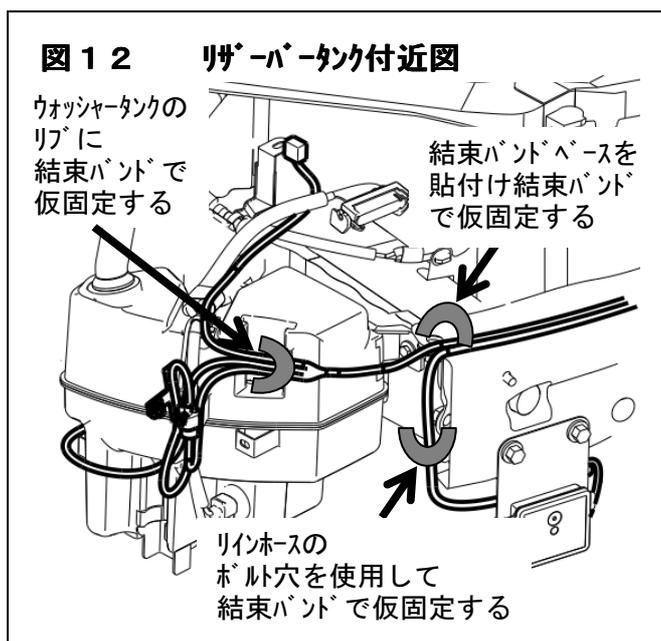
ハーネスが車両のスクリューやホース・チューブ類と干渉が無いことを確認してください。

**図 1 1 フロントラインホース左側図**



17. 図11のように、フロントラインホースメントの取付け部にランプユニットASSYを車両の取付けボルトを使用して規定トルクで締付ける。  
(左右各1個) **【締付トルク: 4.3 N・m】**

**図 1 2 リザーバタンク付近図**



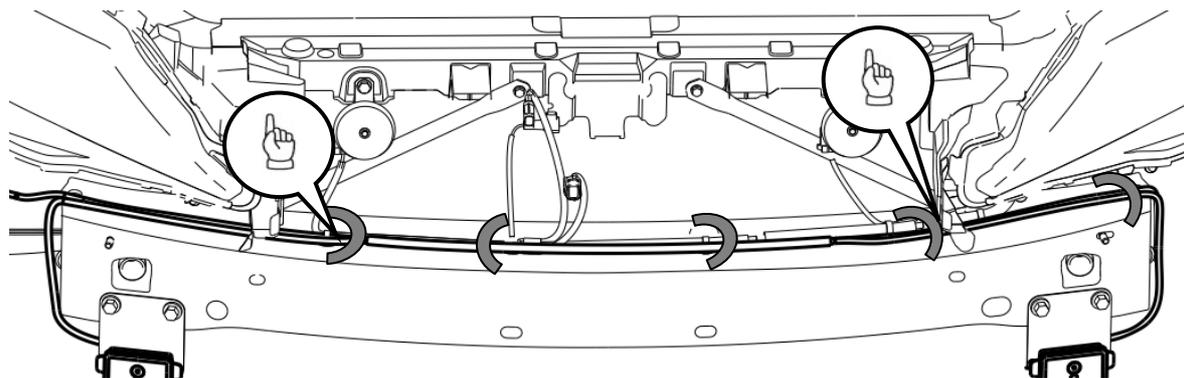
18. 図12のように、ウオッシャータンク側からフロントラインホース側へハーネス⑧を通す。
19. 図12のように、結束バンド⑩と結束バンドベース⑪を使用してハーネス⑧を仮固定する

**▲ 注意**

ハーネスの仮固定は、ハーネスの余長を調整できる程度に結束バンドを締めてください。  
締めすぎると、余長の調整が出来なくなります。

20. 図13のように、フロントラインホースメント上側の車両ハーネスに沿わせてハーネス⑧を通してユニットASSYのコネクターと接続させる。  
(左右各1箇所)
21. 図13のように、車両配線のクランプ部を目安に結束バンド⑩を使用してハーネス⑧を仮固定する。  
(4箇所)
22. 図13のLH端部は結束バンドベース⑪を貼付けて結束バンド⑩を使用して仮固定する。  
(左側1箇所)

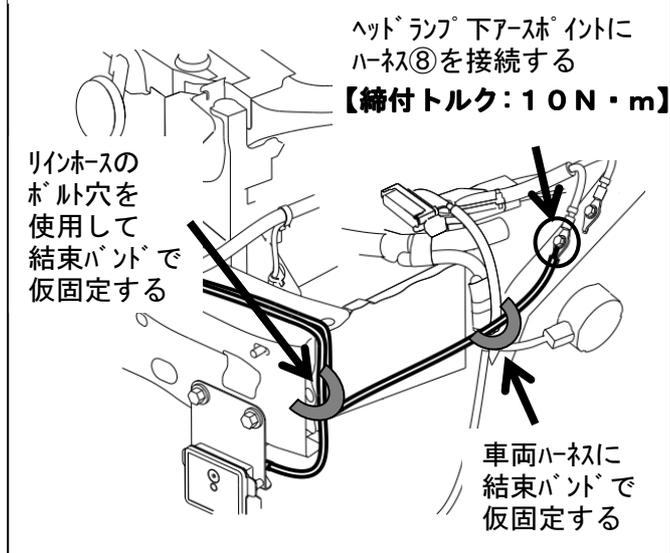
図13 フロントラインホース正面図



ポイント

- ・ハーネスの通線とクランプは、車両ハーネスと同様の位置を通線、及びクランプしてください。
- ・左右エアガイド部はラインホースとエアガイドの間を通してください。

図14 左側ラインホース付近図



23. 図14のように、ヘッドランプ下のアースボルトを一旦取外し、ハーネス⑧の丸端子と共締めで取付け、規定トルクで締付ける。  
【締付トルク: 10 N・m】
24. 図14のように、フロントラインホースのボルト穴を使用して、結束バンド⑩で仮固定する。
25. ハーネス各部に、干渉やたるみ等がないことを確認して、仮固定した結束バンド⑩を固定する。
26. バッテリーのマイナスターミナルを仮組付けしLEDランプの単体点灯点検を行う。

注意

- ・ワイヤーハーネスの固定は、ハーネスがうごかない程度に結束バンドを締めてください。締めすぎに注意してください。

フロントスポイラー取付要領書に従い、LEDランプを  
フロントスポイラーに組付けたあとにフロントスポイラーを  
車両に取付けてください。

※フロントスポイラー取付け後に、再度LEDランプの点灯確認を行ってください。

すべての作業が完了後、⊖バッテリーターミナルの本締め・各種再設定・ダイアグの消去を  
修理書に従い行ってください。

【⊖バッテリーターミナルの締付けトルク：5.4 N・m】

### ■ 取付け後の確認・注意事項

1. タッピングスクリュー・ナットが確実に、締付けられていることを確認する。
2. ハーネスに無理な力がかかっていないか、噛み込みや鋭利なエッジ部に干渉が無いことを確認する。

### ■ 回路図

